



# Team21

第14号

## 兵庫県立加古川南高等学校 21期生 年次通信



### 「先輩に聴く」

4月22日(金)6限、1年次生の「産社」で「先輩に聴く」が実施され、2年次生の2名が勉強や部活動について発表してきました。緊張しながらも堂々と発表し、後輩からの質問にも丁寧に回答する姿はとても立派でした。



### 「勉強について」

私は去年、外国人枠でこの高校に入学して、この1年間、日本語の学習と教科の学習を両立してきました。今日は、これまでどのように取り組んできたかについて話したいと思います。

まず教科の学習については、いろいろな人に「ワークどおり覚えればなんとかなる」と言われましたが、それはあまりおすすめできません。それよりも、勉強している科目の内容をしっかりと理解することが一番大事なことです。理解すれば自然にその科目のことに興味を持てるし、テストでワークと違った問題が出て、簡単に答えられるからです。これは、数学などの教科では当たり前のことだと思いますが、暗記科目でも、そうする方がいいと思います。暗記科目だからと言ってワークの問題を暗記しないでください。あと、多くの方が、ワークや問題集をテストの1週間前に全部解くことが多いと思いますが、それもやめる方がいいと思います。私が高校に入ってこれまでやってきたことは、毎晩、その日にあった授業範囲のワークを解くことです。これをするだけで、授業の復習にもなるし、その日学んだばかりの復習ですので、教科書を見なくても簡単に解けるからです。例えば、今日金曜日、私は世界史と数学B

の授業があるので、家に帰ったらその科目のワークを解きます。そうすれば、中間考査や期末考査の勉強をいつでもできるようになります。私は電車通学で、毎日、電車に乗っている時間が片道約50分です。その時間も積極的に使って、前日に解いたワークを見返したり、その日の朝の小テストの勉強をします。この中では、電車通学の人はい少ないと思いますが、そのような隙間時間をうまく利用して勉強することがおすすめです。私が電車の中でどのように勉強をしているのかと言うと、加古川に着くまでに六つの駅があります。なので、二駅ごとに勉強する科目を分けます。ほぼいつも、1日前のワークの復習をして、日本語の課題が多いのでそれを少しして、朝の小テストの勉強をしていました。これは今でも続けています。隙間時間の話を少ししましたが、「そんな時間ないねん」と言う人も多いと思います。確かに、毎日忙しいとは思いますが、やる気は出す必要があると思います。暇な時間や退屈な時があれば、少しでも勉強してみてください。そういう行動を習慣にしたら、成績も伸びると思います。

私もそうですが、最初は多くの方が産社の授業はあまり面白くないと思っていました。しかし、何回か授業を受けているうちに、この授業からたくさんのことを学べると気づきました。確かに他の授業とは少し違っていますが、だからこそもっと学べると思います。まず、ほぼ皆、恥ずかしいからと言っていろんなことをやめることが多いと思いますが、この授業でいろいろなことに挑戦してみてください。1年次では、地域の施設にインターンシップに行く機会があります。私は、去年インターンシップのグループで班長をしました。事前打ち合わせの電話など大変でしたが、やはり班長をして良かったと思います。「すればよかった」という後悔をしないように、やってみることが大切だと思います。また、授業

では専門家の方がたが来校されて、いろいろな分野のプロフェッショナルな話を聞く機会があると思います。その時、思い切って積極的に質問をしてみてください。そして、皆さんももうすぐ、エナジードと言う教材を使って産社の学習をしようと思いますが、自分を向上させることができる教材だと思います。なので、その知識も是非、日常生活に使ってみてください。このように、苦手な科目に興味を持つことができれば最高です。

最後に、とても大事なアドバイスがあります。中間考査や期末考査の勉強をしている時に、疑問が生じたら分からないままにするのではなく、ノートにメモをして、先生に必ず聞くようにしてください。先生は絶対に知っているし手伝ってくれるので、恥ずかしがらずに聞くことが大切です。私は、日本に来てから1年7ヶ月15日経って、これをやってきて学習の効率が上がりました。皆さんなら余裕でできると思います！

ご清聴ありがとうございました。

**\* 高見さんが書いた原稿をそのまま掲載しています**

### 「部活動と勉強について」

僕はこの1年間、野球部に所属して、充実した日を過ごしてきました。特にこの1年間で技術面が上達したと思います。それは自分たちに適切なアドバイスをしてくださった先生方のおかげだと思っています。なので、1年次のみなさんも、勉強や部活動で先生方のアドバイスを素直に聞いてください。加古南の先生方は僕たちのことを良く見てくださっています。自分では気づかない長所にも気づいてくださって、「ここがあなたの強みです」と教えてくださいます。僕の兄も加古南の卒業生ですが、兄も同じことを言っていました。なので、1年次生のみなさん、加古南の先生方に安心してついていきましょう。

そうは言うものの、全てが順調に進んできたわけではありません。例えば勉強と部活動の両立はそんなに簡単にできることではありませんでした。特に夏は暑くて練習が長く、家に帰ったときには疲れきってしまい、とても勉強する気にはなれませんでした。そんな時に僕がどうしたかというと、「勉強も部活動も自分のためにやっていることだ」と自分に言い聞かせ、メリハリ

をつけました。「今から明日の小テストの勉強を30分したら、あとは休憩する」というふうなんです。集中せずにダラダラと勉強したり休憩したりするのは良くないと思います。少しの時間であっても集中して、「何のために勉強しているのか」を考えれば、自分を奮い立たせることができます。小テストの勉強などをサボり、成績が下がって希望の進路が叶わなくなる苦しみと、今、体が疲れている、やる気が起きないという苦しみを比べたら、どちらのほうがしんどいですか？ そういうふうに考え、僕は1年間頑張ってきました。勉強がうまく回り出すと、部活動もうまく回り出します。すべては繋がっています。なのでみなさんもメリハリをつけて頑張ってください。

部活動の話に戻りますが、部活動にはいいところがたくさんあります。僕にとって野球部は仲間と共に汗を流し、自分の全力が出せる最高の場です。熱い先生方にアドバイスをいただき、時には怒られることもあります。何事もプラスにとらえて人間力を鍛えていける場だと思っています。社会に出ていく上で大切なことは全て部活動から学べるとしています。みなさんにとってもそういう部活動がきっとあるはずですよ。「勉強と部活動の両立ができるだろうか」と心配してまだ部活動に入っていない人もいるかもしれません。しかし、そんなことはやってみないと分かりませんし、たぶんできます。迷っているなら部活動には入ったほうがいいと思います。一人でも多くの人が部活動に入ってくれたら嬉しいですよ。

以上で、部活動と勉強の話を終ります。

ご清聴、ありがとうございました。

